

4 ポール・リクール『レクチュール——政治的なものをめぐって』合田正人訳、みすず書房、二〇〇九年
「暴力と政治」という概念を巡って展開される怜俐な論考の数々。ウクライナ侵攻が続く今、改めて読み直したい。「ハンナ・アーレントにおいて政治と哲学を共存させているものは何なのか」、「合法的なものと善きものに挟まれた正しきものとは何か」などの問い合わせる先には、かすかながら見えてくる希望があるはず。

小澤 実

(西洋中世史)

1 アダム・タカハシ『哲学者たちの天球——スコラ自然哲学の形成と展開』名古屋大学出版会、二〇二二年
イブン・ルシードとアルベルトゥス・マグヌスを導き手として、難解で無味乾燥と避けられたがちなスコラ思想の構造と性質にわけいだ労作。多神教のギリシア世界で天球の構造を追求したアリストテレスの自然哲学を、一神教世界を代表する知識人がどのように理解しようとしたのかを、彼らの施した注釈を通じて明らかにしようとする。読み替えられながら連鎖する思想の生命を読者に提示するタカハシの手つきは、哲学専攻ならずとも魅了される。

2 マーガレット・ウィルソン『イスランド「海の女」』と位置付けられる漁師女性の生態を明らかにしようとした野心作。一見するとアーティストの著者がイスランド人を観察するという体の本であるが、むしろ彼女がアイスランド人に受け入れられる過程の記録こそが本書ではないかとすら思える。松本涼による解説が本書を研究史と同時代史の中に位置付ける。

3 阪西紀子『北欧中世史の研究——サガ・戦争・共同体』刀水書房、二〇二二年

一橋在職中に急逝した著者の遺稿集。中世イスランドを対象とする諸考で阪西が追求したアイスランド社会の基本構成要素の一つは共同体であるが、教え子と同僚による丁寧な仕事に研究室という共同体の在り方も見る。そうした共同体を振り返りつつ、阪西にお世話になった私も解説を寄せた。

4 谷口幸男『ルーン文字研究序説』小澤実編、八坂書房、二〇二二年
ゲルマニスト谷口の仕事に思いを寄せる版元編集者の熱意の賜物。本書の元になる論考は、四十そこそこの谷口が留学先での研鑽の成果に基づき一氣呵成に書き上げた紀要論文だが、單にマニアックな文法解説に留まるこ

5 吉田豊『ソグド語文法講義』臨川書店、二〇二二年
絶海の孤島イスランドの歴史を通じて、「海の女」と位置付けられる漁師女性の生態を明らかにしようとした野心作。一見するとアーティストの著者がアイスランド人を観察するという体の本であるが、むしろ彼女がアイスランド人に受け入れられる過程の記録こそが本書ではないかとすら思える。松本涼による解説が本書を研究史と同時代史の中に位置付ける。

齊藤 誠

(経済学)

1 辻廣雅文『金融危機と倒産法制』岩波書店、二〇二二年
2 中村隆英『日本の経済統制——戦時・戦後の経験と教訓』ちくま学芸文庫、二〇一七年
日本社会の制度や政策は、経済社会のさまざまな矛盾をとことん封じ込めることをとても得意としているが、矛盾を少しづつ開放させてひとつずつ課題を解決することをたいそう苦手としている。経済社会の根底では矛盾のマグマが集積しているにもかかわらず、こうした制度や政策の得意のおかげで人々は平生を装うことができる。しかし、ある日突然、今まで首尾よく封じ込められていた矛盾のマ

グマが一挙に噴き出し、経済社会は大混乱に陥り、人々は奈落の底に突き落とされる。本来であれば、経済社会に矛盾が生じた初期の段階で、矛盾にしつかりと向き合い、矛盾がもたらす課題を丁寧に解決する方が良い。要するに、少々の混乱を覚悟しても、地下深くで矛盾のマグマが膨張する前に、生まれたての矛盾を社会の表舞台に引きずり出す方が賢い。

私は、一九九〇年代半ばより展開されてきた財政金融政策も、経済的な矛盾を封じ込めて社会を安定することに大いに貢献してきたが、経済社会の根底において矛盾のマグマが蓄積し、いつの日か一挙に噴出することを恐れている。ここ数年の読書も、私の懸念(杞憂であればよいのであるが...)を色濃く反映している。

辻廣の著作は、日本の倒産法制の課題に取

遠きにありて、 ウルは遅れるだらう

無条件降伏

誓の劍III

話の終わり

リティアーネイヴィス 岸本佐知子訳

ペ・スア 斎藤眞理子訳
パク・ソルメが最も影響を受けた作家、
初の邦訳書。存在を規定する記憶をすべて失い、「ウル」と名づけられた女性を巡る物語。【エクス・リブリス】◎2200円

【既刊】
士官たちと紳士たち 誓の劍I ◎3740円
士官たちと紳士たち 誓の劍II ◎4180円
クレタ島脱出から二年、ガイは開戦時に抱いた大義を見失いつつあった。自身の戦争体験をもとに書き上げた『誓の劍』三部作完結篇。【エクス・リブリス クラシック】◎4620円
つわものども 誓の剣I ◎3740円
つわものども 誓の剣II ◎4180円

白水社
東京都千代田区神田小川町3-24
TEL 03-3291-7811 ◎価格税込
www.hakusuissha.co.jp